

2024年12月11日

地域プロモーションアワード2024 決定！

大賞は 鹿児島県南大隅町【パンフレット】 鹿児島県喜界町【動画】

一般財団法人地域活性化センターでは、地域の魅力を国内外に発信する広報PR活動の一助とするために、地域プロモーション事業の推進を行っています。その一環として、優れたパンフレットや動画を表彰する「地域プロモーションアワード」を実施しています。

この度、「地域プロモーションアワード2024」の各賞が決定しましたので、下記のとおり発表いたします。

なお、大賞受賞団体の表彰式を2025年1月20日（月）にWASEDA NEO（COREDO 日本橋5階）にて開催いたします。

記

1. 受賞作品

ふるさとパンフレット大賞（第12回） 応募数：74点 受賞作品数：7点

- | | | | |
|-------------|--|------|----------------|
| ●大賞 | 鹿児島県南大隅町 | ●優秀賞 | 長崎県小値賀町 |
| | 「まんなかと、すみっこと。」 | | 「小値賀だから、できること」 |
| ●南伸坊賞 | 長崎県松浦市 | | |
| | 「meets!まつら (vol.19)」 | | |
| ●楓千里賞 | 新潟県 | | |
| | 「NIIGATA Culture Tourism ニイガタ カルチャー ツーリズム -上越エリア-」 | | |
| ●バックン賞 | 山形県鶴岡市 | | |
| | 「つるおか食の原風景」 | | |
| ●マックン賞 | 長野県飯田市 | | |
| | 「飯田焼肉の取説」 | | |
| ●地域活性化センター賞 | 茨城県行方市 | | |
| | 「SHIRAUO BOOK」 | | |

ふるさと動画大賞（第6回） 応募数：104点 受賞作品数：8点

- | | | | |
|-------------|---|------|-------------------|
| ●大賞 | 鹿児島県喜界町 | ●優秀賞 | 埼玉県熊谷市 |
| | 「優しさも、おすそ分け」 | | 「埼玉県熊谷市グルメCMシリーズ」 |
| ●箭内道彦賞 | 埼玉県越生町 | | |
| | 「越生七福神めぐり～小さな町のクセすご神セブン～」 | | |
| ●秋吉久美子賞 | 滋賀県東近江市 | | |
| | 「源 ROOTS OF JAPAN 永源寺エリア 日本の原風景を訪ねて」 | | |
| ●木川剛志賞 | 栃木県茂木町 | | |
| | 「いつかの日常が蘇る場所 茂木町」 | | |
| ●戸高良彦賞 | 神奈川県厚木市 | | |
| | 「おいしいね 厚木の給食」 | | |
| ●谷中修吾賞 | 新潟県 | | |
| | 「NIIGATA Culture Tourism ニイガタ カルチャー ツーリズム Episode2 -魚沼エリア-」 | | |
| ●地域活性化センター賞 | 福井県 | | |
| | 「青々吉日プロモーション動画」 | | |

お問い合わせ先
一般財団法人 地域活性化センター
情報・広報プロモーション課
担当：畠田 藤本 飯山
TEL：03-5202-6137 E-mail：kouhou@jcrd.jp
URL：<https://www.jcrd.jp/publications/pamphlet/2024/>

地域プロモーションアワード2024



第12回 ふるさとパンフレット大賞



審査結果

開催趣旨

地域活性化センターでは、パンフレットによる地域情報発信を支援するために「地域プロモーションアワード」の一環として年に一度「ふるさとパンフレット大賞」を開催し、全国各地の趣向を凝らしたパンフレットを募集、表彰している。

応募作品数

応募作品：74作品 受賞作品：7作品

審査委員



審査委員長

イラストレーター
南 伸坊氏



審査委員

國學院大学
観光まちづくり学部
教授 楓 千里氏



審査委員

お笑いコンビ
パッケンマッケン
パッケン氏



審査委員

お笑いコンビ
パッケンマッケン
マッケン氏



審査委員

一般財団法人
地域活性化センター
常務理事
川住 昌光

受賞作品



大賞 / 鹿児島県南大隅町

まんなかと、すみっこと。



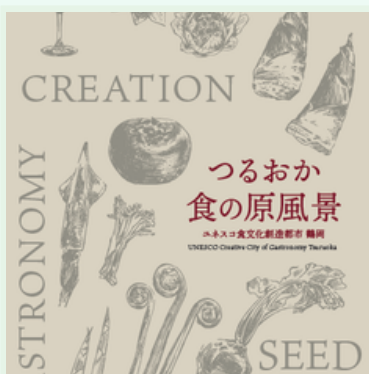
優秀賞 / 長崎県小値賀町
小値賀だから、できること



南伸坊賞 / 長崎県松浦市
meets!まつら (vol.19)



楓千里賞 / 新潟県
NIIGATA Culture Tourism ニイガタ
カルチャー ツーリズム -上越エリア-



パッケン賞 / 山形県鶴岡市
つるおか 食の原風景



マッケン賞 / 長野県飯田市
飯田焼肉の取説



地域活性化センター賞
/ 茨城県行方市
SHIRAUO BOOK

※ 受賞作品の詳細は右のQRコードをご覧ください。

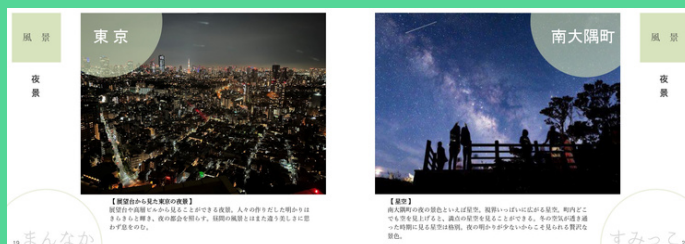




大賞

鹿児島県南大隅町

まんなかと、すみっこと。



審査委員コメント

・都会とのコントラストを端的に写真2枚ずつで示しつつ、じわじわ「南大隅町」の魅力を伝えていくという見事なアイデアでした。

・「まちの姿」「風景」「暮らし」「ひと」のテーマで、見開きの左ページに東京、右ページに南大隅町のシーンが展開し、なるほど、なるほどと見比べ、納得しながら、ページが進みます。後半の「#まんなかと、すみっこ。」では1枚の写真で、東京と南大隅町の全く違う呼び方や捉え方が並び、クスッと笑わせてくれます。制作のプロデューサーは町民保健課の方、町役場の皆さん総出で撮影した写真で構成されている、まさに手づくりの作品には、皆さんの地元への誇りと愛が凝縮されていて、東京に住むものとしては、小さな嫉妬心が浮かびました。

・東京のそれと比べることで、南大隅町のほっこりとした居心地の良さをアピールしている。
読み進めると、「そうだよなあ。これでいいんだよなあ」、「これがいいんだよなあ」と納得していく自分がある。



受賞団体コメント

南大隅町は鹿児島県本土最南端に位置し、人口6,000人程度の小さな田舎町です。
今回の作品「まんなかと、すみっこ。」は日本の真ん中“東京”と、すみっこにある“南大隅町”の「当たり前」を比較しながら、町の魅力を知っていただきたいという思いを持って作成しました。自分たちにとっては当たり前のことが、外から見たら当たり前ではなく、そこにこそ町の魅力が詰まっていると感じています。不便さや地理的に不利な部分などの「当たり前」、その欠点も含めて、町の等身大の姿を見ていただきたいです。
写真撮影やそれぞれの文章、デザインに至るまですべて自分たちの手で作り上げました。町の「良さ」を知っている自分たちが、伝えることの表現にこだわり、一つ一つ丁寧に想いを紡ぎました。それぞれのふるさととも重なる部分もあるかと思うので、ご自身のふるさとを思い出すきっかけにもなれば嬉しいです。
制作にあたり、たくさんの方の暖かいご協力をいただきましたことを、この場をお借りして感謝申し上げます。
この度はこのような大変光栄な賞をいただき、誠にありがとうございました。

優秀賞

長崎県小値賀町

小値賀だから、できること



審査委員コメント

・全てにわたってよくまとまった作品でした。まよりの良さは、他の候補作全般についても言えることですが、パンフレットには、まず心をつかむアイデアや魅力が、その工夫が必要なことは、何度でも私が強調したいところです。ご自分のこととして考えてくだされば、わかるでしょう。タダでもらえるパンフレットを私たちは「見なくてツツ」な人です。ふり向かせるには、工夫と魅力が必要です。写真、イラストレーション、レイアウト、そして文章ですが、文字数には加減が大切です。

・第1回「ふるさとパンフレット大賞」優秀賞の小値賀町の作品は、当時からデザインセンスの良さが光っていました。12回目の今回は、さらにセンスがブラッシュアップされ、ほど良いバランスの写真とテキストに、イラストや書き文字が、温かみを醸し出しています。イラスト入りの地図も情報が整理されて見やすく、島のイメージが掴みやすい仕上がります。上手く誌面に馴染ませているQRコードの入れ方は、他の地域のお手本になると思います。第1回目の表紙はインパクトがあり、記憶に残っていますが、今回の表紙も、波の音や家族のおしゃべりが聞こえてきて、大事にしたい1冊となっています。

・島に着いた瞬間から、どんなことができるのか時間を追って紹介してもらえる粋な構成。これなら自分でもできそうだと思う等身大の島の楽しみ方の数々が展開され、「ちょっと行ってみたいもいいかな。」「何なら住んでみたいもいいかな。」と読み手を浮足立たせる。



受賞団体コメント

この度は「優秀賞」という大変光栄な賞をいただき、誠にありがとうございます。長崎県の五島列島の北部にある小値賀町は、人口約2,100人ほどの小さな島です。このパンフレットを制作するにあたり「たくさんの方に手に取っていただき、何度も読み直したくなったり、大事に保管してもらえるようなパンフレットを作りたい」という想いがありました。タイトルに「小値賀だから、できること〜おぢかの島々を旅するための手引き〜」と題し小値賀を旅する際にできることを分かりやすく紹介しています。また、近年増加しているインバウンドの観光客の方にも対応できるよう多言語QRコードを読み取ることで説明文が28か国語に翻訳できるように工夫しています。小値賀町のきれいな景色や町民の方の温かさ、島のゆったりとした空気感が伝わるように写真の選定にもこだわっています。制作に関わってくださった方々に感謝を申し上げるとともに、多くの方々がこの島ならではのパンフレットを手にとり、小値賀の魅力を知っていただければ幸いです。



南 伸 坊 賞

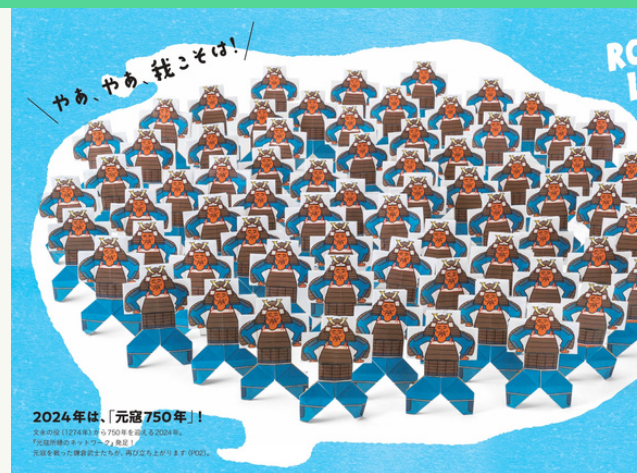
長 崎 県 松 浦 市

meets! まつら
(vol.19)



審査委員長コメント

3回目の受賞となる、長崎県松浦市を、私があえて選んだのは、サービス精神です。パンフレットを「おもしろく」読んでもらおう、という作り手の情熱です。それは思わず手に取る→読んでみる→おもしろい、という好循環につながります。「そんなに元寇にくわしくなってどうする？」と思いません。おもしろいから（笑）アジフライはうまいしネ。



受賞団体コメント

この度は大変光栄な賞をいただき、誠にありがとうございます。
今回の「meets! まつら」は、文永の役から750年の時間の流れと当時の「想い」を現在の私たちの目に可視化する取り組みを中心に上げています。
冊子全体のテーマは「元寇ロック」です。これは命を懸けて戦った鎌倉武士の活躍がなかったら日本の歴史が変わっていたかもしれない、とくに松浦党をはじめとした北部九州の鎌倉武士たちの熱い想いを「ロック」と表現し、鎌倉武士の「揺るがない強い意志」「苦難なことでも前に進もうとする気持ち」を表しました。
また、制作に関わってくださった多くの方々にも感謝申し上げます。今回の受賞を通じて、松浦市、元寇の歴史がより多くの人へ伝わるきっかけとなることを期待しています。



楓千里賞

新潟県

NIIGATA Culture Tourism
ニイガタ カルチャー ツーリズム
- 上越エリア -



審査委員コメント

全97ページに上越の、風土、文化、歴史、そして地域で活躍されている方々が、しっかりと紹介されており、旅行雑誌と見間違える出来映えに、感動しました。

観光情報は、日々新しい情報に置き換えられる「フロー情報」が重宝され、地域ではSNSを中心に取組むのがトレンドでもあります。「NIIGATA Culture Tourism」はこの1冊に上越の魅力と暮らしの息遣いを丁寧に織り込み、上越地域の観光データベースとしても活用できる上質な「ストック情報」と位置付けられると考えます。上越の豊かな旅に誘ってくれる1冊です。

受賞団体コメント

「NIIGATA Culture Tourism (ニイガタ カルチャー ツーリズム)」は、新潟の文化を知り、訪れていただくためのガイドブックです。

今回、楓千里賞をいただいた上越エリアでは、長い歴史の中で様々な文化が育まれ、受け継がれてきました。今回、制作に当たり一番大切にしたのは、「地域の人の熱量を表現すること」です。取材先の皆さんは、上越のまちや生活文化、郷土料理、自然景観に強い誇りを持っておられたので、我々も真正面から取材させていただき、皆さんの熱量をそのままガイドブックに掲載させていただきました。

このガイドブックは、全国の方から新潟を訪れてもらうきっかけづくりが主な目的でしたが、完成後、取材先の皆さんから「これを機に一層志を高くして、郷土のPRや文化の継承に努めてまいります！」とお言葉をいただいたことが、心に残っています。

新潟県では、県内を5エリアに分け、ガイドブックや動画を順次公開していますが、今年度は、ふるさと動画大賞においても、魚沼エリアの動画が谷中修吾賞をいただき、動画とガイドブックのW授賞を大変光栄に思っております。

ガイドブックや動画をご覧いただき、ぜひ、新潟県の文化を体感し、心豊かにする旅へお越しください。



パ ッ ク ン 賞

山 形 県 鶴 岡 市

つ る お か 食 の 原 風 景



審査委員コメント

こういった賞はどうしても「変わり種」が目立つ分、最終審査まで残り、そのオリジナリティーやアイデアが評価され受賞にまで至ることが多い。今回のパッくん賞はあえて、「ストレートパンフ」にさせていただいた。だが、ノーマルな分だけ、分母の大きい、競争率の高いジャンルだと思ってほしい。その中で勝ち抜くには見やすさや情報力だけでは勝ち抜けない。鶴岡市のパンフレットは、写真やレイアウト、文章も優れていて、爽やかさ、親しみやすさ、温もりまで伝えてくる絶品です！おめでとうございます！

受賞団体コメント

2024年は、鶴岡市が国内で初めて「ユネスコ食文化創造都市」に認定されて10周年にあたります。この節目の年にこのような榮譽ある賞を頂戴し、関係者一同、大変嬉しく思っております。誠にありがとうございます。

「つるおか食の原風景」は、本市ならではの食文化の歴史や素晴らしさ、当たり前ではない恵まれた環境を再認識できる一冊になればという願いを込めて制作しました。

本市には、山岳修験の聖地「出羽三山」に伝承される「精進料理」や祭りと精神性を分かち合う「行事食・伝統食」など、風土に息づく精神文化と結びついた食文化が色濃く残っています。また、各家庭に受け継がれる「郷土食」や、農家の人々が世代を超えて「種」を守り継いできた生きた文化財「在来作物」など、先人たちの知恵と情熱によって培われた独自の食文化が今に伝わっています。

これらの特徴的な食文化について、写真や図などをメインに分かりやすく表現し、本市の食文化のストーリーと魅力を知っていただけるような構成としました。

ご覧になりたい方にはお送りさせていただきますので、鶴岡食文化創造都市推進協議会のHP（www.creative-tsuruoka.jp）に記載の連絡先やInstagram（@creative_tsuruoka）等でお問い合わせください。

マ ッ ク ン 賞

長野県 飯 田 市

飯 田 焼 肉 の 取 説



審査委員コメント

「取説」と言うタイトルに目が行きました。導入部分の飯田の焼肉の歴史と特徴も分かり易く書かれていて読みやすかったです。そして、市内にある焼肉店の、お店の写真よりも大きく鉄板、網の写真がズラ〜っと並んでいるのも面白いしインパクトがあります。「焼肉の鉄板、網にも色々な形状があるんだな〜まさに店の顔なんだな〜」と思いました。また各ページの下のコラムも、ミニ知識、雑学的な感じで楽しく読めました。全部読んで「飯田焼肉の取説」というタイトルに納得。パンフレットを持って鉄板、網の答え合わせをしに行きたいです。

受賞団体コメント

この度は大変光栄な賞をいただきありがとうございます。

「飯田焼肉の取説」は、当市自慢の飯田焼肉を、多くの方々に知っていただきたいという思いで作りました。飯田市を含む長野県南信州の焼肉は、戦前より地域で育み熟成されてきた食文化です。个性的で魅力的な焼肉店の数々を、長年の歴史が染み込んだ焼台をメインに紹介しつつ、歴史的な背景を過去の文献やインタビューから掘り下げた構成としています。市民にとっては、地域の歴史文化を確認するバイブルとして、市外から訪れた方には、今晚の行き先を決めるガイド役として、鞆に忍ばせていただければ嬉しいです。

また当市は、リニア中央新幹線の長野県駅ができる「リニア駅ができるまち」です。東京から車で3時間超かかる地方都市が、リニアが開通すれば、東京から45分の「身近なまち」に変わります。開通まではまだまだお時間をいただきそうですが、「焼肉の桃源郷」とも称される昔ながらの空気感を味わっていただけるよう、鉄板をアツアツにしてお待ち申し上げております。

ぜひ、本パンフレットをきっかけに、飯田市のことを知り、訪れ、飯田焼肉の深い魅力を知っていただければ幸いです。



地域活性化 センター賞

茨城県行方市

SHIRAUO BOOK



審査委員コメント

「えっ、しらうおって成魚だったの」という驚きから始まるしらうお尽くしの小品。名物とはいえ、しらうおだけじゃなく、もうちょっと行方市の観光PRをしてもいいんじゃないのと余計なおせっかいまで招来する。あっさりとした冊子の中にも、行方のもつ素朴な魅力が楽しめます。



受賞団体コメント

この度は大変光栄な賞をいただき、誠にありがとうございます。

茨城県行方市の特産品であるシラウオ。繊細な魚であるため、漁の仕方も一工夫、二工夫されていますが、漁業者の減少や高齢化による担い手不足、買取価格の抑制による魚価低迷の常態化などの課題があります。また、漁業経営をめぐる厳しい状況が続いていることから、安定した収益を生み、持続可能で「強い水産業」を構築することが必要となり、それを解消するべく、「霞ヶ浦シラウオ×AIプロジェクト」を立ち上げました。

その一つのツールとして制作した「SHIRAUO BOOK」は、霞ヶ浦シラウオを知ることから始まり、伝統ある技術と現代の最新技術（AIによる鮮度判定）を取り入れた漁の仕組み、そして、食すまでをかすみさんと一緒に学ぶ冊子となっています。マンガ仕立てで手軽に読める冊子なので、観光客の方にはもちろん、是非、市民のみなさんにも手に取っていただき、改めて霞ヶ浦シラウオのことを知っていただきたいと思います。

SHIRSUO BOOKにも登場した、キャラクターの「かすみさん」は、今後もSNSなど展開を広げ、茨城県行方市の様々な魅力を知ってもらえるよう取り組んでいきたいです。

「霞ヶ浦AIシラウオ」特設サイト

